



講演会
「ワクワクまちづくり講演会」
 開催日時：8月26日(土)
 14:30～16:30
 @旧いちい信用金庫天王通支店

今後の予定
 ▷ DAY1 9/23(土) 使い方と過ごし方の物語をつくろう！
 ▷ DAY2 10/8(日) 居場所をデザインしよう！拠点リノベ
 ▷ DAY3 10/22(日) コトを起こす～トライアル企画大作戦
 ▷ トライアル期間 やってみたいことをやってみる
 ▷ DAY4 年明け予定 トライアル発表会&整備イメージ確認

8月26日土曜日の午後、旧いちい信用金庫天王通支店で、津島マチナカプレイスメイキングのキックオフとして、「ワクワクまちづくり講演会」(以下、講演会)を開催しました。津島市に在住・在勤の方など、30名以上の方にご参加いただきました。

まず、これまでの経緯や本事業について共有したあと、アイスブレイクを兼ねた自己紹介を行い、和やかな雰囲気のまま、まちづくりについての背景・事例やポイントを学びました。ティーブレイクを挟んだあと、丸亀市窪田さんより「マルタス」の紹介をいただき、最後には参加者同士で“今日学んだこと、感じたこと”を共有しました。みなさんの熱い思いを聞くことができる素晴らしいスタートができました！

1 松尾室長あいさつ
 都市計画課マスタープラン推進室 松尾室長よりあいさつがありました。

かつて旧いちい信用金庫は、観光交流センターと一体的に使われていました。この場所から、みなさんと一緒にまちづくりを行っていきたいと思っています。今回の講演会は、先進事例として香川県丸亀市より窪田さんと、居場所づくりの活動をしていただいている加藤さんをお迎えしています。ぜひ、皆さんからのご意見をいただきたいです！

2 イントロダクション
 事務局より、まちづくりの方向性やシビックプライド醸成拠点のイメージ、ワークショップの目的等について説明がありました。

○まちづくりの方向性
 継続的なまちづくりを行うため、まずは市が投資主体となり、「点」→「線」→「面」の順で段階的にまちづくりの発展を狙います！

○シビックプライド醸成拠点のイメージ
 誰もがふらっと気軽に立ち寄り、交流・勉強・仕事ができ、子どもや親も安心して学び、遊べる場所。

地域の方の活動の場として使ってもらうことで、シビックプライド(津島に対する愛着とまちづくりの当事者意識)が醸成されます。

○今後のスケジュール
 皆様とのワークショップを通じてシビックプライド醸成拠点の空間を検討し、令和7年度オープンを目指します。



3 ワクワクまちづくり講演会 「ほしい未来は、自分でつくる。」
 講師・進行のタケゾーより、まちづくりについてお話をいただきました。

○まちづくりって？
 ・まちづくりは、“地域づくり”を市民の手に戻すプロセス。
 ・市民参加プロセスは、「入口」から「出口」まで。参加型の拠点施設整備設計～施工(ハード)をきっかけに、担い手やサービス(ソフト)まで誕生。ポイントは「当事者化」。
 ・計画やハード整備だけでは、人は動かない。まちを遊ぶ。ポイントは「おもしろがられる力」。

○地域課題解決への取り組み
 ・得意分野や個性に応じて役割分担をすることで、ともに活動し相乗効果を得られる、弱いところや足りない所を補い合える
 →地域を豊かにする**協働**
 ・みなさん＝「縁」の**仕掛人** 周りの人のやる気とパワーを引き出すプロデューサー

仕掛人の心得 3箇条
 ①余白をデザインする
 ②思いつかせる
 ③とりあえず、やってみる。



講師・進行のタケゾー▽

4 スペシャルゲストトーク 「丸亀市市民交流活動センターマルタスのあゆみ」
 丸亀市窪田さんより、先進事例であるマルタスについてお話をいただきました。

○役割「まちづくりの拠点施設」
 まちに関心がある人やアイデアを育むために市民等が集まる空間を整備しよう
 STEP1 多くの人が集う場所を提供する
 STEP2 地域や市民活動への関心を促す
 STEP3 地域のために行動する人を育てる「人づくり」

○丸亀市は何がしたかった？
 01 市民活動を活性化したい → 協働によるまちづくり
 02 郷土愛を育みたい → シビックプライドの醸成
 03 みんなが行きたくなる施設をつくりたい → 公共施設らしくない公共施設

○マルタスができて変わったこと

「交流」 人や情報が集まる	「活性化」 活動やつながりがうまれる	「にぎわい」 周辺地域とコラボした活動
------------------	-----------------------	------------------------




▽スペシャルゲスト丸亀市窪田さん

○ひとことアンケートより
 まずはやってみる大切さを知りました。/これからは自分達の問題として協働していきたい。具体例を聞いて、そんなコトができるんだ、自分にもできることがあるのでは？と思いました。/まずはやってみることが大事という事がわかりました。/自分にも出来る事があると思いました。/それぞれの市民の方々がまちを変えたい、よくしたいと思う気持ちの事例をたくさんみせていただいて変化がみれて勉強になりました。/自分が何が出来るか？津島に貢献できるか？良いキッカケになりました。/津島の昔ながらの商店街をもって活性化できたら観光客も増えると考えた。/大きなことはできないけれど、何か私にもできることあるかなと思いました。わくわくした時間でした、良くなるといいな。/やはり当事者意識が重要だと思いました。/スモールステップの積み重ねが大きなハッピーにつながるのかなと思いました。/とりあえずやってみるということ。/まちづくりの3箇条、余白をデザインする、思いつかせる、とりあえずやってみる。/余白をデザインする、他事例が参考になった。/もう少し関心をもつ人が増えると良い/スモールステップでできることから取り組んでいくことが、まちづくりの第一歩なんだと気づきました。/「お得」が必要！/やるか、やらないか、まずやらないとダメだと感じた、まず何かやろう。/余白のデザインや公共施設らしくない公共施設はこれからの時代、必要な考えだと思うので、そういった先進事例を聞くことができ有意義な時間でした。/まちづくりはやる気があればできるとわかった。/今日は「市民」「行政」の参加者が殆どでしたか、「企業」の方々の参加が増えていきますように。/まずやってみる。/市民と行政との協働で、津島市のいい場所もできる気がしました。

丸亀愛を強く感じました。思いついて大切ですね。/津島市さんの想いが伝わってきました。/少しずつやっていきたいと思いました。/とっても素敵なお話をありがとうございました。/アイデアを共有できる場があると良いなと思っています。今後も楽しみにしています！/私には推進力がないので、皆と取り組んでいきたい。/住んでいる人、店をまきこんですすめてほしい。/津島市がんばりましょう。

○次回のご案内
津島マチナカプレイスメイキング DAY1
「使い方と過ごし方の物語をつくろう！」
9月23日(土) 14:30～
 @旧いちい信用金庫天王通支店
 お申し込みはこちらから▶



お問合せ:津島市建設産業部都市計画課
 マスタープラン推進室
 TEL :0567-55-9357
 Mail:toshikeikaku@city.tsushima.lg.jp